

札幌市長 秋元克広 様

1000 億円もの税金を投入する 都心アクセス道路の建設中止を求めます

札幌市は、札幌自動車道と都心とのアクセス強化が必要だとして、創成川通の札幌新道から北3条通りの約4km間を、地下トンネルや高架構造による高規格道路の建設か、右折レーンの設置による交差点改良など4案を計画しています。

有力視される整備形態は、高架橋と地下トンネルを組み合わせた「上下混合案」で、建設費は1000億円（市負担約200億円）程度と試算されていますが、地下埋設物の有無など建設費はさらに増大する可能性があります。

札幌市は、「都心とのアクセスに課題」「冬期積雪時の速度低下が著しい」といいますが、市の調査でも創成川通（北32西2地点）の混雑度は最低ランクであり、新たな道路建設は不要です。また、「冬期積雪時の速度低下」は、創成川通に限らず市内すべての道路の大問題であり、迅速な除排雪の実施こそ求められています。

国と道、札幌市の3者による「札幌都心アクセス道路検討会」が行われ、実施に向けた検討がすすめられていますが、市民からは「わずか8分程度の短縮に1000億円もの税金を投入する必要があるのか」という疑問が広がっています。大切な税金は、暮らしと福祉の充実にこそ最優先で使うべきです。

創成川通は、右折待ちによる混雑の緩和が求められていますが、これは右折専用レーンの設置など、交差点改良で対応可能です。国も札幌市も莫大な借金を抱え、人口減少社会の到来や若者のクルマ離れ、高齢者の免許証早期返納など自動車が増える時代を迎えるなか、必要性が極めて乏しい道路建設に莫大な税金を投じるなど許されません。

都心アクセス道路の建設を中止するよう求めます。

氏名	住所

取り扱い団体（ ）

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

都心アクセス道路の建設中止を求める請願

〔請願趣旨〕

国土交通省北海道開発局は、創成川通の機能強化が必要だとして、札幌北ICから都心（北3条通）までの約4km間に高規格道路（都心アクセス道路）の建設を計画し、地下トンネル、または高架構造かこれを組み合わせた上下分離方式、さらに右折レーンの設置による交差点改良の4案が示されています。

有力視される上下分離方式の建設費は1000億円程度と試算されていますが、そもそも創成川通（北32西2）の混雑度は0.87と最低ランクで、「渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんど生じない状態」であり、新たな道路建設は不要です。また、観光、物流、医療などへの「期待される効果」が強調されていますがどれも根拠に乏しく、「わずか8分の短縮に1000億円もの税金を投入する必要があるのか」という疑問が広がっています。

しかも、気候変動による豪雨が頻発するなか、北海道開発局が作成した「豊平川氾濫シミュレーション」では想定しうる最大総雨量、72時間で406mmの豪雨で豊平川が決壊した場合、氾濫した水は100分後には創成トンネルに到達し、200分後にはJR札幌駅に到達するなど市街地に広がるといいます。

都心アクセス道路は、創成トンネルにつながる計画であり、豪雨が多発する時代に逆行した無謀な道路建設というほかありません。創成川通は、右折待ちによる混雑の緩和が求められていますが、これは右折専用レーンの設置など、交差点改良で対応可能であり、莫大な税金を投じる道路建設は必要ありません。

〔請願事項〕

1. 都心アクセス道路の建設は中止すること

氏名	住所

取り扱い団体（ ）